

建築ストックを活かしたリノベーションシティ・小樽【概要版】

平成29年2月9日
市長記者会見資料

◎地域再生計画の概要(第41回認定) ※平成29年2月下旬認定予定

市所有の歴史的建造物「旧寿原邸」においてリノベーションスクールを開校し、小樽市におけるリノベーションの拠点として活用するとともに、空き家の維持・管理ができる組織づくり、移住希望者に空き家マッチングの仕組みづくりを行う。あわせて「旧寿原邸」そのものをリノベーションし、お試し移住ができる簡易宿所として、移住希望者や観光客が集まる場を創出する。

①リノベーションスクールについて

・市内のNPO法人、北海道職業能力開発大学校、小樽商科大学など関係団体・機関の協力のもと、移住希望者やアクティブシニアを対象として、建造物のリノベーション技術やまちづくりに関する知識やノウハウを伝授する。

②空き家の維持・管理ができる組織づくり・空き家マッチングの仕組みづくりについて

・市内の空き家所有者の同意のもと、リノベーションスクールの実習の場として活用することで、管理不全な空き家の解消を図るとともに、リノベーションスクールの修了生を中心として、継続的に空き家の維持・管理ができる組織づくりを目指す。また、リノベーション済み物件の「小樽市空き家バンク」への登録を進め、移住ワンストップ窓口とも連携しながら、移住希望者や市内の転居希望者に積極的に仲介を行う。

③お試し移住のできる簡易宿所について

・「旧寿原邸」を3日～1ヶ月間程度滞在可能な簡易宿所にリノベーションし、お試し移住を通じて本市の暮らしやすさを実感してもらう。また、移住ワンストップ窓口は利用者に対し、②のリノベーション済み物件を積極的に仲介することで、移住希望者や長期滞在者を移住に結びつける。

事業の構成

